

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11292

緊急発掘調査事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	1	文化財の保護

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
中事業	緊急発掘調査事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	洲崎 敬一郎 435-1194
事業実施の根拠法令	文化財保護法		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)を適正に保護する。		埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査を実施、保護資料を作成する。発掘調査事業を企画し、専門団体に委託し、調査を行う。国指定文化財の大谷古墳、四箇郷一里塚を管理する。埋蔵文化財発掘資料を管理する。			
事業内容	遺跡範囲かどうかの確認対応件数 3, 645人 発掘 16件 整理作業 9件	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査の実施、保護資料の作成。発掘調査事業の企画、専門団体に委託し、調査の実施。国指定文化財の大谷古墳、四箇郷一里塚の管理。埋蔵文化財発掘資料の管理。	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査の実施、保護資料の作成。発掘調査事業の企画、専門団体に委託し、調査の実施。国指定文化財の大谷古墳、四箇郷一里塚の管理。埋蔵文化財発掘資料の管理。	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査の実施、保護資料の作成。文化財の保存修理、発掘調査事業の企画、調査の実施。(令和3年度から埋蔵文化財発掘調査事業に名称変更)	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査の実施、保護資料の作成。文化財の保存修理、発掘調査事業の企画、調査の実施。(令和3年度から埋蔵文化財発掘調査事業に名称変更)	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	343,581	337,554	132,377	129,078	111,411	102,353	13,336	0	13,336	0
伸び率(%)	△29.4%	△28.3%	△61.5%	△61.8%	△15.8%	△20.7%	△88%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	12,548	24,696	18,927	18,766	10,431	16,323	10,431	0	10,431
	正規職員以外	1,167	740	1,539	0	0	2,618	111	0	111
	小計	13,715	25,436	20,466	18,766	10,431	18,941	10,542	0	10,542
国庫支出金	9,068	8,486	8,913	8,166	7,997	7,461	5,177	0	5,177	
県支出金	480	424	445	408	399	373	258	0	258	
市債	1,000	1,000	1,000	800	0	0	0	0	0	
その他	200,000	200,000	3	3	4	4	5	0	5	
一般財源(税等)	133,033	127,644	122,016	119,701	103,011	94,515	7,896	0	7,896	
所要人数(人)	正規職員	1.57	3.09	2.35	2.33	1.31	2.05	1.31	0.00	1.31
	正規職員以外	0.47	0.47	0.95	0.00	0.00	1.42	0.06	0.00	0.06
主な予算内訳	文化財発掘調査委託料 27,683千円 文化財保護事業委託料 65,190千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	目標値	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				実績値	達成度(%)	実績値	達成度(%)	実績値
文化財保護法に基づく届出・通知		件	目標値					
			実績値	300	365	339		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
立会調査		件	目標値					
			実績値	70	95	75		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
確認調査		件	目標値					
			実績値	53	43	39		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
発掘調査件数		件	目標値					
			実績値	16	18	6		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	文化財保護法に基づいた事業である。
見直し・改善内容	日常的な文化財パトロールにより、文化財保護法に基づく届出等の漏れがないようにつとめる。